

各区対抗バスケットボール大会



6/21 バレーボール大会



男子

🏆 **優勝** 南恩納体協
 👑 **準優勝** 恩納体協
 🏆 **3位** 瀬良垣体協



女子

🏆 **優勝** 塩屋体協 **初優勝**
 👑 **準優勝** 山田体協
 🏆 **3位** 恩納体協

6/28 卓球大会



男子

🏆 **優勝** 前兼久体協
 👑 **準優勝** 塩屋体協
 🏆 **3位** 瀬良垣体協



女子

🏆 **優勝** 山田体協
 👑 **準優勝** 塩屋体協
 🏆 **3位** 仲泊体協

7/12 みんなで守る、美しい海と地域環境

空き缶散乱防止及びビーチクリーンアップ大作戦が開催され、地域住民や事業者、各種団体など約700人がボランティアとして参加しました。

参加者は、村内全域の海浜や周辺道路の清掃活動を行い、1時間程度の作業で、約3トンものごみを回収しました。

ビーチクリーンアップを通して、環境美化と環境保全への意識向上につながる活動となりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。





6/22

自衛官募集相談員へ委嘱状

恩納村自衛官募集相談員委嘱状交付式が村役場で行われ、中村義臣さんが村長及び自衛隊沖縄地方協力本部長の連名により、自衛官募集相談員として委嘱されました。

自衛官募集相談員とは、自衛隊と連携しながら自衛官志望者への情報提供や相談、自衛隊協力本部の行う募集広報活動の支援を行う方で、委嘱期間は2年間です。



7/8

未来を担う子どもたちの学びを応援 川崎フロンターレ 算数ドリルを寄贈

恩納村と川崎フロンターレは、「恩納村・川崎フロンターレ友好パートナーシップ協定」に基づき、子どもたちの健やかな成長と地域の発展を目指した様々な取組を進めています。

その取組の一環として、村内の小学6年生を対象に算数ドリルが寄贈されました。寄贈されたドリルは、子どもたちの学力向上や学習意欲の向上につながる教材として、学校等での学習活動に活用されます。

恩納村では、今後も川崎フロンターレとの連携を深めながら、子どもたちの学びを支えるとともに、スポーツ・教育・観光など多様な分野で交流を広げ、地域のさらなる活性化を目指します。



7/12

バスケットボール大会



男子

優勝 山田体協
準優勝 仲泊体協
3位 南恩納体協



女子

優勝 前兼久体協
準優勝 塩屋体協
3位 山田体協

7/17

マンゴーコンテスト 味や大きさを競う

生産者の意欲高揚、栽培技術や品質の向上を図るとともに消費拡大を目的に第4回恩納村マンゴーコンテストが開催されました。

審査会で応募10品の中から最優秀賞（恩納村長賞）1点、優秀賞（JA沖縄恩納支店長賞、なかゆくい市場賞）2点が選ばれ、おんなの駅特設ステージにて表彰が行われました。



最優秀賞 當山堅一さん(谷茶)
優秀賞 松田祐樹さん(瀬良垣)
當山寛利さん(瀬良垣)



7/26

第43回 恩納村壮年 バレーボール大会



優勝 恩納成人会A
準優勝 山田成人会



7/28

努力の成果を胸に次なる舞台へ うんな中女子ソフトボール部・吹奏楽部が県大会で活躍

うんな中学校の女子ソフトボール部と吹奏楽部が村役場を訪れ、大会結果と九州大会出場を報告しました。

女子ソフトボール部は沖縄県中学校総合体育大会女子ソフトボール競技で見事優勝を果たし、8月6日から9日まで福岡県で開催される九州大会へ出場します。新井愛陽主将が「九州大会では3位以内に入れるように頑張ります」と力強く抱負を述べ、全国につながる大会でのさらなる活躍を誓いました。

また、吹奏楽部は第66回沖縄県吹奏楽コンクールで金賞を受賞しました。惜しくも九州大会出場には1点及びありませんでしたが、日頃の練習の成果を存分に発揮し、素晴らしい演奏を披露しました。

第53回女子九州中学校ソフトボール競技大会 結果
1回戦 うんな中 7-1 判田・植田(大分県)
2回戦 うんな中 0-4 島原JHS(長崎県)



平和へのメッセージ②

※恩納村慰霊祭で読み上げたメッセージを紹介

※①は広報おんな8月号に掲載

恩納小学校代表(永井 杏奈)

「生きていてくれてありがとう。」私は、戦争で生き残ってくれた人々のおかげで、今この場にいます。

1945年3月26日。慶良間諸島にアメリカ軍が上陸したことで沖縄戦は始まりました。空襲警報が鳴るたびにガマに逃げ込む人々。兵隊に招集され、家族と離されてしまった人々。戦争によって多くの人が生活を困難にしました。戦争体験者の方からは「地獄のようだった……」と当時の様子を教えてもらいました。戦争は、人の心に永遠と傷を残してしまうのです。

あれから81年。沖縄ではたくさんの人が笑い、自然の豊かさをもどってきました。恩納小学校の6年生は、総合的な学習時間に「平和」について学習しています。人によってそれぞれテーマは違いますが、私は「沖縄戦のその後」について調べています。

また、5・6年生合同の平和ワークショップでは、校長先生や恩納村博物館の瀬戸さんが「フォトランゲージ」を通して沖縄戦について教えてくださいました。

私は、これらの学習を通して「平和」への再確認をしようと思います。沖縄で育ったからこそ学べた「平和への誓い」を、これから私が出会う全ての人々に伝えていきます。



仲泊小学校代表(布施 理衣奈)

沖縄は、青い海と青い空、きれいな自然が心を豊かにしてくれるところです。

私は、そんな沖縄を誇らしく思っています。沖縄では、子供から高齢者の方まで、みんな思いやりがあり、笑顔になる挨拶が溢れています。「おはよう」「今日も元気?」「頑張ろう!」と一人ひとりが優しく声を掛け合って毎日を穏やかに過ごしています。

私は、お家でも家族と仲良く過ごしています。私は、こんな平和な生活が当たり前だと思っていました。しかし、81年前の沖縄には、決して忘れてはいけない「沖縄戦」という恐ろしい出来事がありました。それまで、みんなが幸せに過ごしていたのに、「戦争」が美しい沖縄の地も、思いやりのある沖縄の人々の心にも傷を残してしまいました。

私は、毎年、沖縄戦について学習し平和について考えます。戦時中、敵から逃げるために歩き続けた人がいたこと、赤ちゃん、子供たちの尊い命が奪われていったこと、とても胸が苦しくなりました。二度と戦争が起きてはいけない、二度とこの大好きな沖縄を戦いの地にしてはいけない、と強く心に誓いました。

戦争の恐ろしさを体験していない私たちにできること。それは、この悲しい過去を次の世代へ伝えていくこと。命は尊い、ということ。

そして、一番大切なことは、一人ひとりが周りの人にやさしく思いやりをもつこと。これが平和への第一歩だと思います。これからも、この大好きな沖縄の平和を、今を生きる私たちがいつまでも守り続けていきます。



山田小学校代表(島袋 昊太郎)

戦後81年目となる慰霊の日を迎えました。沖縄戦で亡くなられた方々のことを思い、平和について自分なりに考えてみました。

私たちが暮らす恩納村には、美しい海や豊かな自然があります。青い海で遊んだり、友達と笑い合ったり、家族と安心して過ごしたりできる毎日は、とても幸せなことだと思います。このように穏やかに過ごせることが私の考える平和です。

しかし、81年前、沖縄では地上戦が行われていました。4か月もの間、戦争が続き、罪のない人々の命が失われ、平和な暮らしがこわされました。戦争が終わった後も、栄養失調や病気などで県民の四人に一人が亡くなるなど、いいことは一つも無かったことを知りました。犠牲者の中には多くの幼い子供もいたそうです。そして、今も世界では戦争が続いています。ニュースで家を失った人や、泣いている子どもたちを見るたびに、胸が痛みます。私が平和に生活している同じ時間に、戦地では、安心して眠ることや、学校へ通うことができない人たちがいることを、忘れてはいけないと思います。だからこそ、私たちは慰霊の日に、平和について考え続けることが大切だと思います。相手を思いやる気持ち、命を大切に、争いではなく話し合いができる世界を願っています。

私は、恩納村で学ぶ一人として、これからも平和の大切さを伝えていきたいです。二度と沖縄戦のような悲しい戦争が起こらないことを願い、これからの平和な世の中を守りつづけていこうと思います。これで私の平和へのメッセージとします。



高校通学費の一部を補助します

恩納村教育委員会では、経済的支援として通学費の一部を補助しています。

- 対象者**
- ① 高校在学中の生徒及びその保護者が恩納村に在住していること
 - ② 沖縄県教育委員会等実施の通学費に対する支援・補助を受けていない者
 - ③ 週3日以上高校へ通学する者

- 補助額** 在住の小学校区から高校までの距離に応じて、夏休みを除いた11か月分
※自家用車利用で合理的なルートを学校教育課で判断

- 支援時期** 前期：4月～9月(8月を除く)5か月分 ⇒10月支給
後期：10月～翌年3月までの6か月分 ⇒4月支給

- 提出書類** ① 申請書 ② 在学証明書(証明日から1か月以内)
③ 請求書 ④ 保護者の振込口座が確認できる書類(通帳の写し)
※オンライン申請も可能です。

※沖縄県教育委員会が支援する「沖縄県バス通学費支援事業」(全額支援)及び「沖縄県遠距離等通学費補助金」のどちらかを受給できる保護者は、沖縄県教育委員会の制度をご利用ください。

※詳しくは、沖縄県教育委員会ホームページ(生徒・保護者の方への情報)をご覧ください。



お問い合わせ:学校教育課 ☎966-1209

一般不妊治療費助成

恩納村では、不妊治療を受けられたご夫婦の経済的負担軽減をするため、不妊治療に要した費用の一部を助成します。

対象者 次の要件を全て満たす方

- ・産婦人科等の医療機関で不妊症と診断され、その治療を受けた方
- ・法律上の婚姻をしている夫婦で、申請日において、夫婦が恩納村に1年以上住所を有している方
- ・各種健康保険に加入している方
- ・夫婦の前年所得(前年所得が確定していない場合は前々年)の合計額は730万円未満の方
- ・申請日において、村民税等を滞納していない夫婦

対象となる治療 ・医療機関での不妊治療(ただし、一部対象とならない治療があります)
・診断のための検査や治療の一環として行われる検査及び投薬

助成額 1年度につき13万円(ただし、食事療養標準負担額、文書料、個室料等は対象外)

申請期限 令和9年3月31日(水) **申請方法** 窓口にて書類提出

●詳しくは、村ホームページをご確認ください。

お問い合わせ:こどもみらい課 ☎966-1217

詳しくは
こちら



集団健診のお知らせ

日程・場所 9月10日(木) 前兼久公民館

受付時間 8:30～11:00

予約方法 電話又は予約フォーム **持ち物** 受診券

※健診当日は、予約された時間にお越しください。

※健診の2週間前までにご予約をいただいた方には、問診票・受診のご案内をお送りします。

お問い合わせ:福祉健康課 健康づくり係 ☎966-1207



予約フォーム

子宮頸がん・乳がん検診のお知らせ

日程・場所 9月18日(金) 前兼久公民館
9月28日(月) 総合保健福祉センター

受付時間 13:30～14:30 **予約方法** 電話又は予約フォーム

対象者 子宮頸がん検診:20歳以上/乳がん検診:40歳以上 ※2年に1回

持ち物 受診券

お問い合わせ:福祉健康課 健康づくり係 ☎966-1207



予約フォーム

キックボクササイズ教室

キックボクシングの動きを中心に、体全体を使った効率的な有酸素運動を行います。楽しく体を動かし、心も身体もスッキリ整えてみませんか？
初めての方でも安心してご参加いただけます。

日程 10月1日～12月3日
毎週木曜日 19:30～21:00(全10回)

場所 赤間運動公園 フィットネスルーム

対象者 19歳～64歳の恩納村民
(運動制限のない方) 性別は問いません

予約方法 電話又は予約フォーム

講師 仲眞 周 氏(健康運動指導士・パーソナルトレーナー)

募集期間 9月1日(火)～14日(月)

募集人数 10人 **参加費** 3,000円



予約フォーム

お問い合わせ:福祉健康課 健康づくり係 ☎966-1207

恩納村国民健康保険税収納対策緊急プラン

恩納村では、国民健康保険税収納対策緊急プランを策定し、収納率向上に取り組んでいます。

1. 滞納状況の解消

- ・資格状況の確認や所得未申告者への申告を促し、適正課税に努めます。
- ・解雇、倒産、雇い止め、病気など正当な理由のある自己都合退職をされた方へ軽減措置等の周知を図ります。

2. 徴収方法の改善等

- ・コンビニ収納や口座振替サービスなど、納税者の利便性の向上と利用を推奨します。
- ・電話や実態調査等で滞納原因を分析し、それぞれに合った滞納処分や分割納付の相談を行います。

3. 滞納処分の実施

- ・預貯金や給与などの財産を調査し、長期滞納者の財産差押え等を実施します。

お問い合わせ：村民課 国保年金係 ☎966-1205



在宅高齢者介護手当及び 高齢者福祉医療助成金（おむつ助成金）受給者の皆様へ ～現況届の提出及びアンケートへのご協力をお願い～

在宅高齢者介護手当及び高齢者福祉医療助成金を受給されている皆様へ、現況届の提出についてのご案内を9月1日付で送付しています。お手元に届きましたら、必要事項をご記入のうえ、福祉健康課へ持参又は郵送により提出してください。

提出期限 9月30日（水）

提出期限までに現況届の提出がない場合や提出が遅れた場合は、手当・助成金の支給が遅れる、または支給できない場合がありますので、ご了承ください。

また、昨今の物価高騰等を踏まえ、制度の見直しを検討しています。制度の見直しの参考とするため、受給者の皆様の状況を把握する必要がありますので、同封のアンケートにつきましても、ご回答くださいますよう、ご協力をお願いいたします。

お問い合わせ：福祉健康課 ☎966-1207

ちゅらパーキング利用証制度

公共施設や商業施設、店舗などに設置されている障害者等用駐車区画を適正にご利用いただくために、障害のある人、高齢者、妊婦のうち、歩行が困難な方、移動の際に特別な配慮が必要な方に、共通の「利用証」を交付する制度です。

交付対象者 交付基準に該当する障害者、高齢者、妊産婦、その他必要と認められる方

申請方法 窓口申請：交付申請書に必要書類を添えて福祉健康課 地域福祉係窓口で申請
郵送申請：沖縄県障害福祉課のちゅらパーキング利用制度担当まで直接申込み

●詳しくは沖縄県ホームページをご覧ください。

お問い合わせ：福祉健康課 地域福祉係 ☎966-1207
沖縄県障害福祉課 ☎866-2190



有害鳥獣対策補助金のお知らせ

恩納村に住所登録のある農家に対して有害鳥獣による農作物への被害防止対策にかかる経費負担軽減策として資材費(消費税抜き価格)の50%を補助しています。

●ワイヤーメッシュによる侵入防護柵

対策前に申請が必要(予算の範囲内での支援のため事前にご相談ください)

活用事例:さとうきび、パイン、観葉植物畑周辺にイノシシ侵入防護柵として設置

●防鳥ネット(農産物資材等補助金)

JA購買にて防鳥ネット購入後に後日補助金分をJA恩納支店より振込

活用事例:露地野菜やドラゴンフルーツ栽培地周辺に防鳥ネットを設置

お問い合わせ:農林水産課 農林係 ☎966-1202

恩納村第6次総合計画の策定に向けたアンケートにご協力ください

恩納村では、令和9年度に恩納村第6次総合計画・後期基本計画及び第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を予定しています。

つきましては、村民の皆さまのご意見を計画に反映させるため、アンケート調査を実施します。

対象となった方には、9月頃に調査票を郵送(配布)いたします。届いたらぜひ、恩納村の「未来」を決めるアンケートへご協力をお願いいたします!

スマホからも簡単に回答できます!

調査対象 ①18歳(R8.4.1時点)以上の村民から無作為に抽出した2,000人
②村内に住む中高生

実施時期 9月1日(火)～18日(金)

回答方法 郵送またはスマホ・パソコン(インターネット)



この調査は、集計・分析業務を「株式会社インタープラン沖縄」に委託して実施しています。

お問い合わせ:企画課 ☎966-1201

今日からできる食料備蓄 ローリングストックで無駄なく備蓄を!

ローリングストックとは、普段食べているレトルト食品や缶詰、日用品などを少し多めに買い置きして、食べた分・使った分だけ買い足す備蓄方法です。

防災用非常食を特別に用意するだけでなく、日ごろ使っているものをうまく取り入れ、賞味期限切れを防ぎながら、災害時にも安心して食料を確保できます。

お問い合わせ:総務課 ☎966-1200

ローリングストック



9月13日 日 は 沖縄県知事選挙・恩納村議会議員選挙

投票時間：午前7時～午後8時



投票所 住所により異なります。投票所入場券(はがき)をご確認ください。

投票の際には、投票所入場券(はがき)をお持ちください。なお、投票所入場券を紛失したとき等は、本人確認ができるもの(運転免許証、マイナンバーカード等)をお持ちください。

【期日前投票・不在者投票】

期日前投票所：恩納村役場2階会議室 午前8時30分～午後8時

8月				9月											
28日 (金)	29日 (土)	30日 (日)	31日 (月)	1日 (火)	2日 (水)	3日 (木)	4日 (金)	5日 (土)	6日 (日)	7日 (月)	8日 (火)	9日 (水)	10日 (木)	11日 (金)	12日 (土)
← 沖縄県知事選挙 →															
村議選は投票できません(8/28～9/8)												← 恩納村議会議員選挙 →			

各選挙で期日前投票期間が異なりますのでご注意ください。9月9日～9月12日の期間のみ2つの選挙の期日前投票が可能です。

投票所入場券裏面の宣誓書をご記入のうえ、ご持参ください。

お問い合わせ：恩納村選挙管理委員会 ☎966-1259

第76回“社会を明るくする運動”メッセージ伝達式



7月6日、中部北保護区保護司会の佐久川会長より、長浜村長へ「内閣総理大臣・県知事メッセージ」、宜志富教育長へ「県教育長メッセージ」が伝達されました。

本運動は「犯罪・非行の防止と立ち直り支援についての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くため」の全国的な運動です。村民の皆様には、本運動の社会的意義や更生保護ボランティアの存在・役割についてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

更生保護ボランティアとは、犯罪や非行をした人の立ち直りや、犯罪予防活動を支える民間ボランティアの総称です。

【恩納村での主な活動】

恩納村在 保護司(法務大臣から委嘱) 4人

保護観察官と協力し、保護観察対象者との面接や生活指導、社会復帰の支援などを行います。

恩納村更生保護女性会 会員73人

地域で犯罪や非行のない社会づくりと、立ち直り支援に取り組んでいます。

・更生保護施設への昼食支援・各種啓発活動・子どもの健全育成活動・朝のあいさつ運動(交通指導)等



令和8年度 恩納村地域づくり支援助成事業団体の決定

恩納村では、地域の課題解決や住民参加による村づくりの推進を目的に、村内の団体などが実施する地域活動を支援します。

今年度は、下記の6団体が選定されました。各事業のお知らせや募集につきましては、各団体が行います。

事業名 子どもたちの笑顔と地域のつながりを育む場「はまゆうキッチン」

団体名 一般社団法人ファーストサークル
代表：松本 壽美雄

〈実施日〉7月～2月 第1・3水曜日 6:30～8:00
※8月は夏休み期間のため実施なし

■ 仲泊小学校家庭科室で子どもたちへの朝食支援を行います。地域全体で子どもたちの孤立を防ぎ、地域ボランティアへの参加で、役割や生きがいを見出す機会とします。



事業名 訪問演奏・文化祭・アトラクション
2027 ナビーズ混声合唱団CONCERT
～歌の贈り物～

団体名 恩納村文化協会ナビーズ混声合唱団
代表：長嶺八重子

〈実施日〉令和9年2月20日(土) 〈場所〉ゆうなホール
■ 音楽鑑賞を通して、感動や喜びを共有し文化活動の充実につなげます。



事業名 「性」を学ぶ、講演会・ワークショップ

団体名 10ホールズオーケストラ
代表：湊晴代

- ・恩納村健康福祉まつり出展
- ・村内こども園で園児向けワークショップ てんちゃんづくり
- ・講演会の実施
(場所：恩納村博物館 研修室
講師：助産師 櫻井裕子)

■ 専門家から性の知識を学び、子どもから大人まで「性」について伝え、話し合い、自己決定する力を育てることを目的としています。



事業名 SHOWA 地域住民の健康づくり

団体名 SHOWA (いきいき体操)
代表：長濱マチ子

〈実施期間〉8月～3月 〈場所〉宇加地公民館
健康づくり運動/百歳体操/筋力トレーニング
料理教室(発酵料理・薬膳料理)
体操ゲーム/折り紙講座/音楽に合わせ
てダンス など 計26回

■ 幅広い年齢層との健康づくり活動を行い、認知症予防の理解・行動に繋げる機会とします。



事業名 恩納村子供文化祭

団体名 恩納村文化協会琉球舞踊部会
代表：仲間江利子

〈実施日〉11月22日(日) 〈場所〉ゆうなホール

■ 村内の子どもたちは、琉球舞踊をはじめ三線や太鼓、島くとうばや吹奏楽など、様々な芸能や文化を学んでいます。
そこで、村内学校へ出演依頼を行い、子どもたちが主役となる発表の場を作ります。未経験者も公募します。



事業名 子ども組踊体験ワークショップ事業

団体名 琉球芸能実行委員会
代表：仲間夕理彩

〈実施期間〉7月～11月

村内こども園・保育園(3園)で組踊体験ワークショップ実施

■ 沖縄の伝統芸能である組踊を体験型で学ぶワークショップを実施します。



過去の実績はこちら→



お問い合わせ：企画課 ☎966-1201

10月
開講

一般介護予防教室

参加者募集

対象者 65歳以上の恩納村民 **受付期間** 9月1日(火)～25日(金)

申込方法 地域包括支援センター(福祉健康課内)

※電話の場合は、仮申込みになります。※新規申込者優先となります。

※①・②の教室は10月～3月までの半年間となります。



選べる3つの教室

①脳リズ教室

馴染みのある歌謡曲に合わせてステップを踏んだり手指を動かしたり、脳を活性化します。笑いもあり、認知症予防にも効果的！

日時 木曜日、金曜日 午後2時～4時 **場所** 恩納村総合保健福祉センター

送迎 木曜日▶南コース 金曜日▶北コース

②アクティブシニア教室

主に立って全身を動かし、足腰の強い体づくりを目指します。いつまでも自分の足で歩けるように、レッツチャレンジ！

日時 火曜日 午後2時～4時 **場所** 恩納村総合保健福祉センター **送迎** 有

③いきいき筋力アップ教室(男性限定)

一人ひとりに合わせてトレーニングマシンの使い方を指導し、運動の習慣化を目指します。使い方を覚えたら、教室がない日もトレーニングマシンを利用できます。汗を流し、筋力アップ！

日時 金曜日 午後2時～4時

場所 赤間運動公園トレーニングルーム **送迎** 無

お問い合わせ：恩納村地域包括支援センター(福祉健康課内) ☎966-1207

*「子育て支援センターゆうな」が開園します！

令和8年9月1日より、恩納村オリーブこども園を運営している社会福祉法人望星会により子育て支援センターゆうなが開園されます。オリーブ保育園ゆうなの一角を活用し、子育て支援センターゆうなとして運営されます。

子育て支援センターとは、0歳～6歳(未就学)のお子様とその保護者のための場所です。お子様と保護者の方がいつでも気軽に遊びに来て、一緒に遊んだり、友だちの輪を広げたり、時には子育てについての相談や情報交換を行ったりする子育ての広場です。



お問い合わせ：子育て支援センターゆうな ☎966-8110



元気のひきだし

うんちは“健康のバロメーター”

排便後にうんちのチェックをすることで、体調の変化に早く気付くことができます。

食べたものがうんちになるまで

□ 食べ物を噛み砕き、唾液に含まれる酵素により、でんぷんが分解される。

食道 筋肉を動かすことで食べ物を胃へと運ぶ。

十二指腸 糖質・たんぱく質・脂質すべてが分解される。

小腸 分解された栄養素を吸収する。水分の80%もここで吸収される。

胃 胃に運ばれた食べ物は胃液と混ざり合い、たんぱく質の分解が始まる。

大腸 小腸で吸収されなかった残りカスから水分やミネラルを吸収し、適度な硬さの便を作る。

【うんちの何をチェックすればいいの?】

うんちの色 黄褐色だと健康的なうんち

黒いうんち 上部消化管(胃・十二指腸など)のどこかで出血が起きている可能性あり。

赤いうんち 便に血液が混じっていれば、深刻な病気の可能性も。

白いうんち 胆管や肝臓の異常の可能性も。

うんちの硬さ

うんちと言えば食べカスをイメージする人が多いですが、**理想的なうんちの80%が水分で、食べカスはわずか6~7%です。その食べカスの正体は主に食物繊維です。**

硬い



便秘

水分が少ないうんち
うんちが腸をととてもゆっくり通るので、水分が腸に吸収されすぎて硬い便になります。

“理想的なうんち”

=“バナナ状ですりりと出てくるうんち”



柔らかい

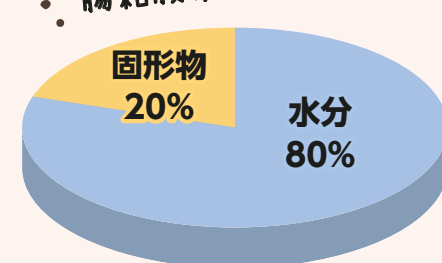
下痢

水分が多いうんち
うんちが腸を速いスピードで通るため、水分が腸に十分に吸収されないまま緩い便になります。

食べカス1/3

腸内細菌1/3

腸粘膜1/3



食物繊維を多く含む野菜やきのこ、海藻などと水分をしっかり摂って、いいうんちを出しましょう!

お問い合わせ: 福祉健康課 健康づくり係 ☎966-1207

日本兵の沖縄戦記

「夢も結ばず」 下

前回(7月号)からの続きです。米軍の上陸前空襲、艦砲射撃をうけ、長尾さんたち要塞建築第6中隊(第6中隊)は北部へ移動しながら、米軍にも遭遇、戦闘状態に入ります。首里の第32軍司令部が南部へ撤退を決めた5月22日以降、長尾さんたちはやんばるの各地を転々としています。

【恩納岳での戦闘終結】

5月22日には「今日ばかりは九死に一生を得る」という危機的な状況に追い込まれました。大雨をしのぐために住民の家に入れてもらった際、「今日ほど敵と近近遭ったことは初めて」と表現する「3間」(約6m)くらいの距離まで米軍が接近し、危うく銃撃をうけるところでした。この日は第32軍が南部撤退を決めた日でもあり、戦争がさらに長期化していくことになるのですが、長尾さんたちは知る由もありませんでした。

5月23日から米軍の攻撃が激しくなり、食糧調達もままならなくなります。「一日の量約3勺」(約45g、ご飯茶碗の3分の1)では空腹を満たすことなどできず「目がまいそう(ママ)」になります。この窮状の中「傷兵の小屋作り二棟分の仕上」も「体の力が無く作業もできない」状況に陥りました。

6月1日、米軍の攻撃はさらに激しさを増し、恩納岳への米軍の猛攻はじまると、長尾さんたち中隊は全員後退し、この夜地区司令官(特設第一連隊長青柳時香大佐だと思われます)はじめ隊員は「全部下がって父志山(ママ。久志岳)」に向かおうとします。恩納岳に本部を置いていた第二護郷隊が撤退するのがこの時期で、ほぼ同時に長尾さんたちも移動したことになります。しかし長尾さんの部隊は大人数で移動するリスクを回避するために分散し、国頭ではなく「恩納の部落」に移動します。



恩納岳と恩納集落

伊江島に突破することを決意します。

7月1日、やつのことで舟をだし、「舟が思う様に進行せず名護港の入り口から本部の近く」に近づき、翌日上陸した後、本部から今帰仁の山中に入りました。「今夜ほど命がけで来た事は初めてである」との記述からは、米軍に見つかるかもしれない、舟が沈没するかもしれないという極度の不安と緊張の中で、何とか辿り着いたことがうかがえます。その後しばらくして羽地、三原から移動し、東村有銘にも一時退避します。そこでは、「わが潜水艦が来て敵の船を大分やつている」(8月9日)などという日本軍優勢の情報を得る一方、「情況はよくない」という記述がさらに増えてきます。8月27日には「8月15日付をもって日本が降伏したとか宣伝ビラを飛行機より撒く」と書かれてありますが、このことについての

【舟で命がけの脱出】

長尾さんたち一団は恩納岳を抜け、「イモ掘り」「ウナギ取り」などで食糧を確保しながら恩納、石川、屋嘉の各所を点々と移動します。この頃になるとさらに長尾さんの体力が落ち込み「近頃どうも体が気力なくだるく体がぐらぐらする」(6月24日)、「体力がゼロに成って仕末った」(6月25日)という状況に陥ります。また「島尻方面の戦局は22日を以て玉碎した」という話を聞き、「我々もどうなる事か」という不安を覚える中、幸運にも谷茶の浜で舟を見つけ、

細かい言及はなく、日本が負けたという認識をまだ持ち得ていなかったのではないかと考えられます。一方で8月15日の古里でのお盆を思い出し、家族のことを憂いて、「妻子の夢を見る」という記述もあり、複雑な心のうちが見えてきます。

日記が記されているのは1945年9月13日までで、長尾さんは1947年の12月に宮崎に復員しました。米軍に投降した年月日がわかりませんが、まだ捕虜となっていない1945年9月から1947年12月まで2年余りあることから、日本兵の捕虜収容所だった屋嘉捕虜収容所に送られ尋問を受けた後、ハワイに移送されていた可能性もあります。

※大阪大学助教の秋山かおりさんの調査によって、沖縄戦で米軍の捕虜となりハワイの収容所に移送された総人数は4839人、このうち県出身者は最大4053人と推計されることが分かりました(沖縄タイムス2026.2.13)。



恩納村内の米軍基地

3回にわたって長尾綱義さんの日記を紹介してきました。このたび、長尾さんのご親族より、「夢も結ばず」を寄贈いただき、文化情報センターで閲覧できます。ぜひ館内でごらんください。最後に日記を翻刻されたご家族の長尾正典さんが冒頭に書かれた「はじめに」を紹介します。

「この本が二度とこの

ような戦争の惨禍をおこさないために(中略)二十余万の沖縄戦戦没者の筆舌につくし難い無言の記録として次の世代に伝えることに役立てば幸甚である」

長尾さんたち要塞建築第6中隊や第二護郷隊の日本軍部隊が命からがら移動し、村内外の住民が犠牲となり、あるいは戦火を逃れるために方々を避難した恩納岳および周辺の山々は現在米軍キャンプ・ハンセンとなり、実弾演習が繰り返されています。現在も沖縄戦当時の証言を裏付ける調査や、戦争遺跡などの確認ができない状態にあります。

戦争当時の恩納岳山中の戦場の様子がうかがえる証言が嘉手納町史に残されています。戦争直後、食糧探しにいくために喜瀬武原から恩納岳中腹のコースをたどりながら移動した方の証言です。この証言では「山の中腹には南北に延びた小幅の道があり、地面から10cmくらいの高さの位置に足がひっかかりやすいよう、電線が引っ張られていた」「この電線にはいくつもの空き缶がぶら下がり、これにひっかかると音がるように仕掛けられ、米軍がいつでも攻撃できるように準備をしていた」「穴だらけの鉄帽や遺骨が散乱し近くの小川の上流にも白骨が多く残っていた」といった戦場の生々しい様子が記されています。戦後すべての遺骨が回収できたかは不明で、現在も山野にそのまま残っている可能性もあります。また戦跡も残されているものと考えられます。

村史戦争編は2022年に発刊しましたが、今後も住民の証言、体験記はもとより、日本兵の手記、軍隊の記録など様々な資料を手がかりに恩納村の戦争を明らかにしていきたいと思っています。(瀬戸)

【参考文献】

- ・「夢も結ばず——旧日本兵の沖縄戦記より——」長尾正典編(1990年)
- ・「恩納村史第三巻 戦争編」恩納村史編さん委員会編(2022年)
- ・「嘉手納町史資料編6 戦時資料下」嘉手納町史編纂審議会編(2003年)

博物館・文化財だより

令和8年度 恩納村博物館講座 「トウツルモドキでカゴ作り講座」開催

受講者
募集!

博物館では今年度も村内に自生するトウツルモドキという植物を使ったカゴ作り講座を行います。講師の方々の指導の下、材料の加工から編み上げまで一連の工程を実際に体験し、カゴの完成を目指します。

世界にひとつだけのカゴを作ってみませんか。



日 時 10月24日(土)、25日(日) 9:30~16:30
(受付9:00~)

場 所 恩納村博物館1階研修室

講 師 木下義宣 氏(山原ものづくり塾 塾頭)、
ものづくり塾メンバー

対 象 ①~③を全て満たす方
①高校生以上の村内在住・在勤者
②2日間参加できる方
③初めて受講する方

定 員 10人(事前申込・応募多数の場合は抽選)

募集期間 9月14日(月)~10月4日(日) 17:00まで

申込方法 申込みフォーム ※受講の可否は10月7日(水)までにメールにて通知

参 加 費 一人60円(2日間の保険料) ※当日徴収

服装・持ち物 作業しやすい服装、軍手、マイナスドライバー、剪定バサミ、飲み物、昼食(帰宅、外出も可)



申込み
フォーム

令和8年度 恩納村博物館企画展 「南恩納の歴史と豊年祭展」のご案内

令和7年度一般財団法人地域創造の助成を受けて実施した「南恩納の豊年祭」映像記録保存事業の成果を紹介する企画展を開催しています。合わせて、村博物館・文化財調査で収集した資料を基にした写真展や資料紹介も行っています。

この機会にぜひ、博物館へご来館いただき、企画展をお楽しみください。

期 間 7月28日(火)~9月13日(日) 9:00~17:00
※最終入館時間16:30 休館日:毎週月曜日

場 所 恩納村博物館 企画展示室及び2階ロビー



お問い合わせ:恩納村博物館 ☎982-5112

■9月のおすすめ本【食生活改善普及運動】

毎年9月の1か月間は厚生労働省が定める「食生活改善普及運動」月間です。日頃の食事で不足しがちな野菜や果物に関する本をご紹介します。

『野菜どっさりやせパスタ100』

新谷 友里江／著
主婦と生活社



パスタはどうしても糖質が気になります。麺を少し減らし、野菜やたんぱく質を多めに加えることで、糖質を控えることができます。普段の野菜不足が気になっている方や健康的な食生活に変えたい方におすすめの一冊です。

『果物と野菜の小さな薬膳』

ちよい足しで元気チャージ
久保 奈穂美／著
エムディエヌコーポレーション



残暑が厳しい季節は体調を整えるために薬膳の力を借りてみてはいかがでしょうか。「ちよい足し薬膳」とし、体調に合わせて足りない栄養素を補う果物と野菜を使った薬膳の簡単な料理を紹介しています。日々の食卓に体をいたわるもう一品を。

『今日誰かに話したくなる』

野菜・果物学
小林 貞夫／著 小林 奈々／絵
エクスナレッジ



食卓を彩る野菜や果物。普段は食材として見ている私たちですが、優しいイラストとともに、農学博士の視点で野菜や果物の不思議をひもといていきます。食べることが好きな方も、育てることが好きな方も、野菜や果物を植物として楽しめる一冊です。

■舞台公演「島口説」

- 日時** 9月5日(土) 13:00開場 13:30開演
場所 恩納村博物館1階研修室
出演 平良大／城間やよい／知花小百合
対象 どなたでも
(推奨年齢：小学校高学年以上)
参加費 無料
主催 一般社団法人エーシーオー沖縄

■作品募集

「第7回 恩納村 図書館を使った調べ学習コンクール」の募集を開始します。

- 対象** 恩納村在住の
小学生・中学生・高校生・一般
テーマ 自由
募集期間 9月1日(火)～27日(日)

■9月のイベント

イベント	詳細
みんなでラジオ体操	9月の毎週日曜日(全4回) 11:00～
認知症月間パネル展(福祉健康課) 合同企画	9月1日(火)～10月4日(日)
スマホでできる!恩納村の情報づくり	9月16日(水) 18:00～19:30

※イベントの最新情報・詳細は恩納村文化情報センターのホームページをご覧ください。



恩納村文化情報センター 9月の休館日

休館日 7日、14日、24日、25日、28日、29日、30日 **資料整理日** 17日

開館時間

平日 10:00～19:00 **土・日・祝** 10:00～17:00

お問い合わせ:恩納村文化情報センター ☎982-5432



ホームページ
<https://onna-culture.jp>



フェイスブック
@onnalibrary



インスタグラム
@onna_library



X(エックス)
@onnalib



「SDGs週間」に考える、私たちの現在地と次なる一歩

毎年9月25日を含む1週間は「SDGs週間」です。最新の「持続可能な開発報告書2026」で、日本の達成度は169か国中20位でした。一見上位ですが、ジェンダー平等、気候変動、海の豊かさ、陸の豊かさの4目標が最低評価（赤色）となっており、特に環境分野の多くは進捗が停滞しています。



●SDGs達成 ●課題は依然として残っている ●重大な課題が依然として残っている ●大きな課題が残っている
 ➡やや改善している ➡停滞 ↓減少 ●●トレンド情報は入手できません

出典：Sustainable Development Report 2026（原文は英文）

■ 特に日本の達成度が低い目標は何が問題？

【ジェンダー平等】男女が同じようにチャンスを得るための課題

日本では会社の社長や政治家に占める女性の割合が世界に比べて非常に少ないです。また、同じ仕事をしていても男女で給料に差があることが問題視されています。

【気候変動】地球温暖化を止めるための課題

電気を作るときに石油などの化石燃料を多く燃やしていたり、物資の輸入や輸送のためのCO₂排出量が削減されないことが理由です。

【海の豊かさを守る】【陸の豊かさを守る】

国内での自然保護が進んでいないという面と、海外からの輸入に頼りすぎて、過剰な漁獲や森林伐採などを誘発することで自然環境に影響を与えている可能性が高いことに起因しています。海の生物を傷つける「海洋プラスチックごみ」も深刻です。

■ SDGsと「サンゴの村宣言」は、本質的に全く同じゴールをめざしています

恩納村は「サンゴの村宣言」で「世界一サンゴと人にやさしい村」を目指しています。一方、SDGsも環境を守るだけでなく、人間の経済や暮らしも持続可能にすることを目指します。「サンゴと人にやさしい村」づくりは世界の未来を救うSDGsの達成へとつながっています。まずは身近な暮らしの中から、できることを一緒に始めましょう。

SDGs週間 展示のお知らせ

9月18日（金）から10月4日（日）まで、文化情報センター3階展望室でSDGsに関する展示を行います。SDGs未来都市としての恩納村の取り組みとともに、Sustainable Development Reportや国内外で議論が始まった2030年以降の目標についてご紹介します。

お問い合わせ：企画課 ☎966-1201

恩納村教育ビジョン
ワクワク 学び つなげる
自律・協働・創造

うんな中学校公開授業 マイプラン学習カンファレンス 令和8年10月9日(金)



小学校も公開します!

安富祖小学校
9:30~10:15
~~~~~  
3年・6年

恩納小学校  
9:25~10:10  
~~~~~  
3年・5年・6年

仲泊小学校
9:25~10:10
~~~~~  
6年

山田小学校  
9:20~10:05  
~~~~~  
6年

うんな中学校公開授業

マイプラン学習公開教科(学年)
国語科(2年)、数学科(1年)、英語科(1年)
理科(2年)、社会科(2年)、技術科(1年)

公開時間:11:00~11:50(10:30受付)
駐車場:赤間運動公園(徒歩10分)

マイプラン学習カンファレンス

場所:恩納村コミュニティセンター 時間:14:00~16:45(13:30受付)

会場の皆様と、佐野先生、那須先生、島谷さん、恩納村教職員と共に、うんな中学校の授業をふり振り返り、マイプラン学習の可能性について、対話を通して学んでいきましょう!

対話ファシリテーターは、NPO法人「学校の話をしよう」の皆様です。



東京学芸大学
佐野 亮子 先生



上智大学
那須 正裕 先生



NITS
島谷 千春 さん

お申込みはこちら



お問い合わせ:学校教育課 ☎966-1209

✉syuninsidou@vill.onna.lg.jp

セグロウリミバエのまん延防止対策への協力依頼

6月11日に実施した定期果実調査の結果、20地点のうち6地点、新たに恩納区、宇加地区でのセグロウリミバエ寄生が確認されました。令和6年3月の沖縄本島内の寄生初確認から2年半が経過しており、沖縄県内全域のトラップ誘殺が確認されている状況においては対策がとられていない場合、セグロウリミバエの寄生(卵を産み付けられる)リスクが高まっています。卵から1～2日程度で幼虫になり果実内を食い荒らした場所から腐敗し商品価値が著しく低下します。



セグロウリミバエ
体長8～9mm

不要果実(販売できない、食用に適さないもの)や栽培終了後の残った果実を畑や庭先で放置せずに密閉処分(可燃ごみ)、埋却処分(20cm以上土をかぶせる)をお願いします。

沖縄県では不妊虫(交尾しても卵ができないような処理をほどこしたオス)を航空放飼して根絶に向けた取り組みをしていますが、県内流通に規制はないからといって、対策しない方が多いと野生虫の発生が多くなり不妊虫の効果が出るまでに長期間要します。栽培している一人ひとりの対策が必要です。

防除への協力依頼

□不要果実・収穫後の適正処分

放置せずに袋などに入れ、密閉処分(可燃ごみ)または20cm以上の土をかぶせて処分。

□防除

果実への袋がけ・果実との間に空間を設けたネットがけ、ハウス栽培、農薬散布のいずれか。(ネット目合い2mm以下)

□寄生対象作物の栽培自粛

《野菜》ゴーヤー、ヘチマ、トウガン、モウイ、キュウリ、ズッキーニ、カボチャ、さやいんげん、トマト、スイカ

《果樹類》パッションフルーツ、ドラゴンフルーツ、パパイア、グアバ、すもも

詳しくは、沖縄県ホームページをご確認ください。

検索ワード「沖縄県 セグロウリミバエのまん延防止対策」



詳しくはこちら

第2回定期果実調査日程:9月1日(火)

家庭菜園および農地でミバエ類が寄生する作物を調査します。

※セグロウリミバエの寄生が確認された場合、果実の除去をお願いします。

お問い合わせ:農林水産課 ☎966-1202

令和8年（2026年）10月から

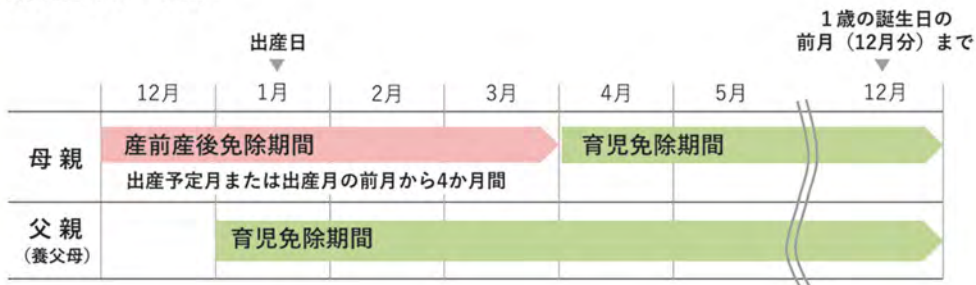
国民年金保険料の 育児免除制度が始まります！

実子、養子を育てている方は、
育児のための免除制度を利用できます。



- 国民年金第1号被保険者（自営業者・農業者・アルバイト・無職など）も**育児で保険料が免除される制度**が始まります。
- お子さま（実子・養子）を育てている方（父母・養父母）は、申請することで、月額17,920円（令和8年度）の**保険料が免除**されます。
- 対象期間は、お子さま（実子・養子）が**1歳になる誕生日の前月まで**です。
- 将来の年金額は、**納付した場合と同じように反映**されます。

<育児免除イメージ図>



申請はスマホでOK! 電子申請がかんたん便利

基本的に、書類をそろえる必要はありません。

※届書（紙）による手続きの場合には、「産前産後免除該当届／育児免除該当届・終了届」、
「マイナンバーカード」の写し等が必要になります。

スマホで24時間365日、電子申請ができます。

※恩納村役場の国民年金担当窓口や郵送でも手続きできます。

制度や手続きの
詳細はこちら



日本年金機構特設ページ



マイナポータル（電子申請）は
こちら

お問い合わせ：名護年金事務所 ☎0980-52-2522
村民課 国民年金係 ☎966-1205

■ 第38回「ツール・ド・おきなわ2026」募集

沖縄県北部12市町村を舞台に、日本最大級の自転車イベント「ツール・ド・おきなわ」が開催されます。今年も、地域と自然の魅力を感じながら、レース志向の方から、ファミリーや初心者まで楽しめるサイクリングイベントになっています。ぜひご参加ください。



開催日 11月7日(土)・8日(日)

申込期間

サイクリング部門:7月22日～9月19日(土) 17:00

レース部門:8月1日～9月19日(土) 17:00

申込方法

大会窓口及びインターネットより受付

大会公式サイト:<https://www.tour-de-okinawa.jp>

問 受 NPO法人ツール・ド・おきなわ協会
名護市宇茂佐の森5丁目2-7(北部会館2階)

☎ 050-1721-2648 ✉ info@tour-de-okinawa.jp

■ 令和8年度11月開講 沖縄県障がい者委託訓練生募集

科名 介護初任者研修科(知識)

募集期間 9月1日(火)～18日(金)

訓練期間 11月2日(月)～令和9年1月29日(金)

訓練場所 名護市(名護市産業支援センター)

募集対象 知的障害者、精神障害者

定員 8人

受講料 無料(ただし保険料、テキスト代等は別途必要)

問 沖縄県立具志川職業能力開発校

☎ 973-6680

■ ハイサイ歯科健診

沖縄県後期高齢者医療広域連合では、ハイサイ歯科健診を実施しています。お手元に受診券(8月下旬に発送)が届いた方は、受診券に同封されている歯科医院に電話予約の上、受診していただきますようお願いいたします。

期間 9月1日(火)～令和9年1月31日(日)

対象者 恩納村にお住まいで令和8年4月1日時点で75歳から79歳の被保険者(ただし、要介護1から5の方、施設に入所中の方、長期入院者を除く)

費用 無料(受診期間内1回に限り)

問 沖縄県後期高齢者医療広域連合 事業課

☎ 963-8013

■ 自衛官採用試験

種目	受験資格	受付期間	試験日(1次)
2等陸・海・空士 (任期制自衛官)	18歳以上33歳未満	年間を通じて行っています	受付時にお知らせします
一般曹候補生		9月15日(火)～11月20日(金)	11月28日(土)～12月6日(日) いずれか1日

問 自衛隊沖縄地方協力本部 名護地域事務所 ☎ 0980-52-4064

■ 認知症パネル展

9月は認知症月間です。認知症への知識や理解を深めるため、パネル展を開催します。

期間・場所

・9月1日(火)～9月27日(日) 恩納村文化情報センター

・9月15日(火)～10月5日(月) 恩納村役場 1階ロビー

内容

・認知症についてのパネル展示

・認知症に関する情報などのパンフレット、書籍設置

問 恩納村地域包括支援センター ☎ 966-1207

■ 恩納村スポーツ協会 大会日程

開催日	競技	会場
9月6日(日)	陸上	赤間運動公園

※変更又は中止になる場合があります。

問 恩納村スポーツ協会(教育委員会内)

☎ 966-1210

■ 恩納村若者就業支援プログラム給付金

恩納村では、一般社団法人沖縄産業開発青年協会第169期青年隊(令和8年10月生)へ入隊する方へ、資格取得のために要する費用を給付します。

対象

15歳から39歳までで、以下の①～③すべてに該当する者

①日本国籍を有し、恩納村に住所を1年以上有する者

②学校教育法で定める中学校を卒業した者又は卒業見込みの者

③本事業と同様の他の給付金等を受給していない者

※予算に限りがあるため、応募者多数の場合は選考になります。

給付額

18歳以上	全額	695,000円
	半額	347,500円
17歳・16歳	全額	665,000円
	半額	332,500円
15歳	全額	635,000円
	半額	317,500円



▲詳しくはこちら

申込期限 9月18日(金)

問 商工観光課 ☎ 966-1280



■ 沖縄の米軍関連施設で石綿(アスベスト)にさらされる仕事をしていた方と そのご家族・ご遺族のみなさまへ

沖縄米軍関連施設での仕事に石綿にさらされたことにより次のような疾病にかかった場合、労災保険制度または石綿健康被害救済制度に基づく補償または救済を受けられる可能性があります。

■対象となる疾病

中皮腫、石綿肺、石綿起因性肺がん、良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚

■ご相談は…

心当たりのある方は、お近くの労働基準監督署または労働局にご相談ください。

那覇監督署	☎098-868-8040
沖縄監督署	☎098-916-6335
名護監督署	☎0980-52-2691
宮古監督署	☎0980-72-2303
八重山監督署	☎0980-82-2344
沖縄労働局	☎098-868-3559

石綿を扱う仕事や症状などの情報は、厚生労働省ホームページの「アスベスト(石綿)情報」をご覧ください。
※沖縄の米軍関連施設で石綿にさらされる仕事をして
いた方については、一般社団法人 沖縄駐留軍離職者
対策センター(☎098-923-0151)においてもご相談
を受け付けております。

■ インターネットで村議会を視聴

恩納村議会では、本議会の様子を生中継・録画中継しています。

本会議場にて傍聴ができない方も、スマートフォンやタブレット端末をとおしてライブ映像を気軽に視聴することができます。なお、通信料は利用者負担になります。

村ホームページにある議会バナーや二次元コードから簡単に見るすることができます。

問 議会事務局
☎ 966-1199



人口と世帯

2026年7月末現在

()は前月比

人口	11,245人	(-46)
男	5,750人	(-20)
女	5,495人	(-26)
世帯数	6,278世帯	(-35)

■ 無料調停手続相談会

日時 10月16日(金) 13:30~16:00

場所 名護中央公民館 第3研修室、第4研修室

内容 土地、建物、夫婦・親子関係、財産分与など

申込み 当日受付

問 名護調停協会・沖縄県調停協会連合会

☎ 855-1694

■ 万座毛周辺活性化施設内 店舗出店者(テナント)募集

恩納村の特産品等を積極的に活用した商品の販売を行う出店者を募集します。

募集内容 万座毛周辺活性化施設内1階地域特産品販売コーナーへの出店 ※飲食店不可

募集店舗数 3店舗

貸出期間 1年間 ※最長2年まで延長可

貸出面積 15㎡/店舗

利用料 4,000円/㎡・月(税込)

応募資格 ・恩納村内に住所を有する法人及び個人
・オリジナリティあふれる商品の販売や優良なサービスを提供できる方
・万座毛周辺活性化に対する思いを理解し、ともに連携協力頂ける方

募集期間 9月1日(火)~11月30日(月) 17:00まで

応募方法 必要事項を記入した当社指定の応募書類を提出

※応募書類は当社にて受け取るか、ホームページよりダウンロードしてください。

※郵送、持参可

問 万座毛株式会社

☎ 966-8080

■ ご寄付ありがとうございます。

●恩納村奨学基金へ

香典返し

・島袋 高子 様(故 島袋 啓 様)……………5万円

●子ども子育て応援基金へ

香典返し

・島袋 高子 様(故 島袋 啓 様)……………5万円

●恩納村社会福祉協議会へ

一般寄付

・OIST職員 様……………1万5千円

・ON-NA-GO Resort Village 様
謝恩チャリティーコンペ……………3万7千円

香典返し

・宮平 貴美 様(故 宮平 ミヨ 様)……………10万円

うんな まつり

2026.10.3 **土**・4 **日**

📍 恩納村コミュニティ広場

同時開催

第12回 恩納村美ら海花火大会 10月4日(日) 花火が夜空を彩ります



ステージや催し物など詳しいプログラムは、村ホームページで随時お知らせします。

お問い合わせ：うんなまつり実行委員会事務局（商工観光課内） ☎966-1280

令和8年度 文化財普及事業

万座毛命名300周年記念パネル展「万座毛-王が称えた絶景-」開催

恩納村は県下有数の観光地として知られ、その中でも万座毛は国内外から年間約140万人が訪れる沖縄県を代表する景勝地です。

万座毛という名称は、琉球王国時代の1726年、尚敬王が北部巡検の際にこの地を訪れ、雄大な景色に魅了されて「万人を座らせるに足りる毛」と褒め称えたことに由来すると伝えられており、本年は、その命名から300年の節目を迎えます。

本展示では、この節目にあたり、万座毛に由来する歴史的背景や文化的価値、自然環境の魅力について、パネルや写真を通して紹介します。



1970年頃万座毛空撮

開催期間・
場所

9月21日(月)～10月25日(日) 恩納村博物館 2階ホール

10月28日(水)～11月19日(木) 恩納村役場 1階フロア

11月21日(土)～12月21日(月) 万座毛周辺活性化施設 1階

お問い合わせ：恩納村博物館 ☎982-5112